



## ◆石薬師・加佐登・庄野の見どころ◆

### ①(北町の地藏堂)

江戸時代、石薬師宿の入り口に、旅の安全を願って建てられた延命地蔵で、宿場を往来する人々の信仰を集めました。

### ②(大木神社と椎の木)

石薬師の氏神様で、昭和57年秋に建て替えられましたが、社殿後の森は、市指定「椎の森」で杉、アラカシ、サカキ、ソコゴ、ヤツデ等と椎の木とが混生して美しい森を形成しています。境内には佐佐木信綱の歌碑もあります。

#### 《椎の木》

約1ヘクタールにわたって椎の巨木が群生しています。昭和54年6月1日に鈴鹿市の天然記念物に指定されました。

- ・石薬師町2127-3 ☎374-3355
- ・C-BUS停「石薬師地区市民センター」下車徒歩10分
- ・鈴鹿ICより車で約20分

### ③(佐佐木信綱記念館と生家)

歌人で国文学者の信綱(1872~1963)は、弘綱を父としてこの地で生まれました。記念館には第1回文化勲章をはじめ多くの遺品、著書、原稿など2000点が収蔵されています。又、隣接地には、生まれてから5年間を過ごした生家があり、5月頃には、先生の作詞で「夏は来ぬ」(卯の花の匂う垣根にほととぎすはやも来鳴きてしのびねもらす夏は来ぬ)の「卯の花」が見られます。

#### <歌碑>

「目とづればここに家ありき奥の間の机のもとに常よりし父」  
 「ふるさとの鈴鹿の嶺の秋の雲あふぎつつ思ふ父とありし日を」  
 「傾けてバイクを駆る群が行く鈴鹿の山は父祖のふるさと」幸綱  
 「これのふぐらよき文庫たれ故郷のさと人のために若人のために」

- ・石薬師町1707番3号 ☎374-3140
- ・C-BUS停「佐佐木記念館」下車徒歩約3分
- ・鈴鹿ICより車で約20分

### ④(鈴鹿市考古博物館)

鈴鹿市考古博物館は国史跡伊勢国分寺跡の隣接地にあり、奈良時代の寺院や役所に関する特色ある資料を中心に、展示を行っています。また玉づくりや土器づくりなどの体験学習を通じて楽しく歴史を学ぶことができます。

- ・国分町224番地 ☎374-1994
- ・鈴鹿ICより車で約25分

### ⑤(御曹子社) (蒲冠者源頼朝之社)

源頼朝の弟、蒲冠者源頼朝を祀った神社。

### ⑥(蒲桜)

寿永のころ蒲冠者で知られる源頼朝が平家追討の軍をひきいて京都へ向う途中、石薬師如来に戦勝を祈願し、その際、鞭にしていた桜の枝を地面に押し「我が願ひ叶いなば、汝地に生きよ」といい残して出発したといわれます。宇治川の合戦では見事勝利を治め、この鞭も芽をふいてきて枝を張り、春には美しい花を咲かせ蒲桜といわれるようになりました。鞭を地面にさかさに押ししたこと「逆桜」とも言われています。なお、この蒲桜を詠じた佐佐木信綱の歌碑があります。

「ますらをの其名と、むる蒲さくら  
 更にかをらむ八千年の春に」



### ⑦(石薬師寺)

高富山石薬師寺と言う真言宗の寺院です。木立に囲まれた本堂は江戸初期の桃山様式で、神戸城主一柳盛盛の再建によるといわれています。ご本尊は弘法大師が花崗岩に爪で彫ったといわれる薬師如来像で、高さ190cm、幅110cmの像は、浅い線彫りで浮き出しています。平素は秘仏で12月20日には、「おすす払い」の行事があり、拝観することができます。境内には、佐佐木信綱等の歌碑があります。

- ・石薬師町1番地 ☎374-0394
- ・C-BUS停「佐佐木記念館」下車徒歩15分
- ・鈴鹿ICより車で約20分

### ⑧(石薬師の一里塚)

県指定史跡。昔は、榎が植えられていましたが、昭和34年伊勢湾台風で倒れ当時の面影はありません。現在は「史跡石薬師の一里塚」の標柱が建てられています。

- ・上野町83番地

### ⑨(定五郎橋)

前川(定五郎)は天保3年甲斐村の生まれで、甲斐の渡しを徒歩する通行人の苦渋を見て筏で渡し奉仕活動をして、65歳の時四つ乗り船を実費で購入し通行人を救いました。同年、私財と寄付金で板橋を架橋しましたが、二旬を終ずて大雨で流失、再び寄付金と私財の全てを投じて2回目の架橋を行いました。更に本格的橋梁建設を行い、関係町村や役所に情熱を以て説き回り、明治41年11月その完成をみました。ときに定五郎77歳この時、定五郎橋と命名されました。

### ⑩(浄安寺と観音像)

市文化財釈迦如来座像、平安時代後期檜の一本造り。左に大日如来、右に観音菩薩座像が並んでいます。

- ・加佐登二丁目8-3 ☎378-0198
- ・C-BUS停「JR加佐登駅」下車徒歩10分
- ・鈴鹿ICより車で約15分

### ⑪(荒神山観音寺)

「荒神山の喧嘩」また、春日局が寄進したといわれる釣鐘があることで有名な、真言宗の荒神山観音寺。4月7日の春祭りには火渡りも行われ、多くの参拝者で賑わいます。

- ・高塚町1177番地 ☎379-0331
- ・C-BUS停「荒神山」下車徒歩1分
- ・鈴鹿ICより車で約15分

#### 《荒神山の火渡り》

火のついた薪の上を、裸足で火渡しし、厄除けと家内安全を祈ります。

#### 《吉良仁吉の碑》

慶応2年神戸の長吉と桑名の穴太徳がなわ張り争いで、当山の裏山で約200人が入り乱れて死闘が繰り広げられました。吉良の仁吉と清水一家が長吉に加勢して大勝しましたが、仁吉は28歳の若さで凶弾に倒れた話は映画や浪曲で有名です。仁吉の碑は昭和26年浪曲師広沢虎造が建てたものです。

### ⑫(鈴鹿フラワーパーク)

フラワーパークは、整備された花壇に植えられた四季折々のきれいな花々が迎えてくれます。子どもたちに大人気の約30mあるローラー滑り台があります。ピクニック広場もあるので、休日にはお弁当を持ってピクニック気分でお出かけするのも楽しいです。

- ・加佐登町1690-1 ☎367-3455
- ・C-BUS停「荒神山・フラワーパーク」下車徒歩5分
- ・鈴鹿ICより車で約15分

### ⑬(白鳥塚古墳)

白鳥塚1号塚(県史跡)は古くから茶臼山、丸山、経塚とも呼ばれ、日本武尊の墓として最も有力視されてきた古墳。直径は東西78m、南北60mと、県内最大の円墳。(宮内庁指定の能褒野塚は亀山市にある丁字塚となっています)

### ⑭(高宮資料館)

加佐登調整池横の平安後期から中世にかけてあった椎山寮寺と椎山中世墓から出土した古瀬戸や常滑焼の蔵骨器や石仏などを展示しています。年1回の春の大祭時のみ公開。

### ⑮(加佐登神社)

日本武尊(ヤマトタケル)を祭神とする加佐登神社。神社の北西には日本武尊のお墓といわれている白鳥塚古墳があり、日本武尊の霊が白鳥になって飛び去ったという伝説があります。境内は紫つじの名所。見頃は4月上旬。春祭は4月8日。

- ・加佐登町2010番地 ☎378-0950
- ・C-BUS停「加佐登神社」下車徒歩5分
- ・鈴鹿ICより車で約15分

### ⑯(庄野宿資料館)

庄野町に残る膨大な宿場関係資料の活用を図り、併せて旧小林家(市指定文化財)の保存を進めるため主屋の一部を創建当時の姿に復元し、平成10年4月に庄野宿資料館として開館しました。館内には、庄野宿の本陣、脇本陣文書、宿場関係資料をはじめ、日本画で活躍された故小林彦三郎氏の絵画や文書のほか、地域に残る民具、農具、日用品等を展示しています。

- ・庄野町21番8号 ☎370-2555
- ・JR加佐登駅下車徒歩約10分
- ・C-BUS停「庄野下」下車徒歩1分
- ・鈴鹿ICより車で約15分

### ⑰(綺宮跡) (かんはたのみやあと)

第12代景行天皇(日本武尊の父)が尊の死後この地を訪れたときの行宮(かりみや)地跡。加佐登町の旧名「高宮」もこの宮にもとづくと言われ、この付近を高飛郷と言ったのも白鳥飛翔伝承に由来します。

### ⑱(女人堤防の碑)

この辺りは鈴鹿川と支流安楽川の合流点で、たびたび氾濫して被害が大きく、文政12年頃、神戸藩に何度も修築を申し出たが許されず、女性たちが禁を犯し打ち首を覚悟で堤防を補強しました。女性たちは一旦は処刑場に送られましたが赦免の早馬で救われたといわれます。

## INFORMATION

- ・鈴鹿フラワーパーク管理事務所 ☎367-3455 【バス・C-BUS】
  - ・庄野宿資料館 ☎370-2555 三重交通中勢営業所 ☎059-233-3501
  - ・佐佐木信綱記念館 ☎374-3140
  - ・鈴鹿市考古博物館 ☎374-1994
  - ・鈴鹿川河川緑地運動施設 ☎370-8099
- 【鉄道】
- ・伊勢鉄道 ☎383-2112
  - ・近畿日本鉄道鈴鹿市駅 ☎382-0143

#### 【タクシー】

- ・近鉄タクシー ☎386-1161
- ・三交タクシー中部 ☎382-1381
- ・鈴鹿タクシー ☎378-0118
- ・日の出タクシー ☎386-1256
- ・ホンダタクシー ☎378-0346
- ・名鉄タクシー ☎384-5678

#### ■お問い合わせ■

**鈴鹿市観光協会** 〒510-0241 三重県鈴鹿市白子駅前17-12  
 TEL059-380-5595 FAX059-380-5596  
 ●鈴鹿市観光協会ホームページ <http://www.kanko.suzuka.mie.jp/>

